目標1 子育て世帯を			マコロ マロングログ マログロ マロス かんしょう かんしょう ちゅうしょ ちゅうしょ さんしゅう ちゅうしゅう かんしょ こうしゅう マイス しゅうしゅう しゅう しょう しゅう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	つ本生 (製	(字语语)					
学校生活に満足してい	<u>クラクラー</u> る児童・	こした釣	H30	アル 美(多 R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
主徒の割合(①小学生)	0,000	実績(%)		_				11.0	110	95.0
R2状況				<u>'</u>	誘因・要	因·課題		,		
前年度から0.2ポイン	ここ数年	、横ばい	の状況で	ですが、令	·和2年度	は新型コ	ロナウイ	ルス感染	と 症対策の	のため、
ト下降し、めざそう	様々な学	校行事や	日常生活	らでの制限	があり、	満足度を	高めてい	くことか	困難な	伏況にあ
値に比べて3.1ポイン	りました	。その中	にあって	こ、この結	果は、学	校におけ	るきめ細	かな対点	の結果	であり、
ト低い状況です。				と考えま						
				支援を継		ともに、	新しい生	活様式0	つ中での治	満足度の
				校とが模						
	備老 · 「学	お評価がまし	ライバー (女立	『科学省)に行	Xって久学長	が行ったら	・校証価の紅	甲を作計し	て助りまし	・
	す。	TKITIMA TI	/1/] (入口	P17 → B/(⊂)		(M-11)/CT	*/ X	水で米町し	/ C4X 7 & C	- 67 (4 - 4
学校生活に満足してい			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
生徒の割合(②中学生)		実績(%)	91. 3							95.
R2状況					誘因・要					
前年度から0.5ポイン	ここ数年	、下降傾	向が継続	もしていま	す。昨年	度は、下	降の割合	は減った	こものの記	課題は大
ト下降しており、め				三度は新型						
ざそう値に比べて9.2	2 や日常生	活での制	限があり	、満足度	を高めて	いくこと	が困難な	状況にあ	らりました	た。中学
ポイント低い状況で	校では、	特に部活	動に対す	つる制限が	、満足度	に対して	大きく影	響してレ	\ると考;	えます。
す。				具は、学校	における	きめ細か	な対応の	結果であ	らり、あれ	る程度評
		であると								
				支援を継)中でのネ	満足度の
	高い活動	」を教育委	員会と学	ዸ校とが模	索してい	くことが	求められ	ょす。		
	備考:「学	校評価ガイド	うんく」(文音	『科学省)に行	逆って各学 校	でが行った学	:校評価の結	果を集計し	て取りまと	こめていま
	す。									
基本的施策 ①安心で				T = .					1	
みどり市学力調査におい とこれを紹介が			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
上回った児童の割合((り小字生)	実績(%)	76. 5	77.7						80.
R2状況	日ぼけっ	ナルナン -	IF	1 	誘因・要	丛 · 課題		136 >>	7- 7	br Tri
前年度から6.7ポイン				見童が、令						
ト下降しており、め				/響も考え						
ざそう値に比べて9.(ですので、					古果を基に	こした授
ポイント低い状況で	美以音に	.労めるよ	ツ、教育	育委員会と	しく又抜	ど継続し	しいさま	9 0		
す。										
	備考:									
	D113 3 -									
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
」 タどり市学力調査におい を上回った児童の割合((<u> </u>	実績(%)					R4	R5	R6	
	<u> </u>				69. 7			R5	R6	
を上回った児童の割合((て、目標値 ②中学生) 	実績(%)	70.	71.9	69.7 誘因・要	因・課題				75.
を上回った児童の割合(© R2状況	で、 目標値 ②中学生) 目標値に	実績(%)	70.1	l 71.9 己童が、令	69.7 誘因・要 和元年度	因・課題と比較し	て2.2ポ	イント増	えていま	75. :す。新型
を上回った児童の割合((R2状況 前年度から2.2ポイン	で、 目標値 ②中学生) 目標値に コロナウ	実績(%) 三到達して ゴイルス感	70.1 いない児 染症によ	l 71.9 登童が、令 こる影響も	69.7 誘因・要 和元年度 考えられ	因・課題 と比較し ますが、	て2.2ポー 課題は大	イント増	えていま	75. す。新型 学校の
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.3	て、目標値 で、目標値 ②中学生) 目標値に コロナウ 3 実態によ	実績(%) 到達して イルス感 り課題は	70.1 いない児 染症によ 様々なり	1 71.9 記童が、令 こる影響も 六況ですの	69.7 誘因・要 和元年度 考えられ で、各学	因・課題 と比較し ますが、 校ごとに	て2.2ポ [*] 課題は大 実態を分	イント増 さいと考 が析し、分	えていま	75. す。新型 学校の
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.1 ポイント低い状況で	て、目標値 で、目標値 ②中学生) 目標値に コロナウ 3 実態によ	実績(%) 到達して イルス感 り課題は	70.1 いない児 染症によ 様々なり	l 71.9 登童が、令 こる影響も	69.7 誘因・要 和元年度 考えられ で、各学	因・課題 と比較し ますが、 校ごとに	て2.2ポ [*] 課題は大 実態を分	イント増 さいと考 が析し、分	えていま	75. す。新型 学校の
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.3	で、 目標値 ②中学生) 目標値に コロック コロック は 日標に コロック 実 で り は は は は り は り は り は り り り り り り り り	実績(%) 到達して イルス感 り課題は	70.1 いない児 染症によ 様々なり	1 71.9 記童が、令 こる影響も 六況ですの	69.7 誘因・要 和元年度 考えられ で、各学	因・課題 と比較し ますが、 校ごとに	て2.2ポ [*] 課題は大 実態を分	イント増 さいと考 が析し、分	えていま	75. す。新型 学校の
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.5 ポイント低い状況で す。	て、 目標値 ②中学生) 目標値にウま は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	実績(%) 到達して イルス感 り課題は	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、	71.9 記童が、令 こる影響も 対況ですの 教育委員	69.7 誘因・要 和元年度 考えられ で、各 で 会 と して	因・課題 と比較が、 校ごとに 支援を組	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してV	イント増えさいと考 か析し、分 いきます。	えていま きえます。 分析結果?	学校の を基にし
注上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.5 ポイント低い状況で す。	て、 目標値 ②中学生) 目標値にウま は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	実績(%) 到達してイルス感り課題は善に努め	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、 H30	71.9 担童が、令 こる影響も 代況ですの 教育委員	69.7 誘因・要度 和元年度 考え、各 で、として	因・課題 と比較し ますが、 校ごとに	て2.2ポ [*] 課題は大 実態を分	イント増 さいと考 が析し、分	えていま	75. す。新型 学校の を基にし めざそう
*上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.5 ポイント低い状況で す。 *力や運動能力に優れ 上徒の割合(①小学生)	て、 目標値 ②中学生) 目標値にウま は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	実績(%) 到達して イルス感 り課題は	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、	71.9 担童が、令 こる影響も 代況ですの 教育委員	69.7 誘因・要度 和元年られ そことして R2	因・課題 と比較し ますが、に 校ごと 緒 R3	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい	イント増えさいと考 か析し、分 いきます。	えていま きえます。 分析結果?	75. す。新型 学校の を基にし めざそう
 上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れき後の割合(①小学生) R2状況 	て、 目標値 ②中学生) 目 フ 目 フ まだ 間 で き で で で で で で で で き で で き で り で り で り	実績(%) 到達してイルス感り課題は善に努め	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、 H30 29. 3	71.9 王童が、令 こる影響も 代況ですの 教育委員 R1 32.0	69.7 誘因・要度 和考で会として R2 誘因・要	因・課題 と比較い、に 校立と R3 因・課題	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい	イント増 さいと考 が折し、欠 いきます。	えていま 考えます。 } 析結果	75. す。新型 学校の を基にし めざそう 35.
 上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.5ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れき徒の割合(①小学生) R2状況 新型コロナウイルス感 	て、 目標値 ②中学生) 目コ実に 間にウよ改 にウよ改 備考 を 児童・	実績(%) 到達して感り課題は善きに努め	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、 H30 29. 3	71.9 土童が、令 こる影響も 、次ですの 教育委員 R1 32.0	69.7 誘因・要度 和考で会として R2 誘因新型 誘因新型 は新型 に関いる。 の表記を表して の表記を表記を表して の表記を表記を表して の表記を表記を表して の表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	因・課題 と比較が、に 校支援を R3 R3 Bロナウイ	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増 さいと表 が折し、欠 いきます。 R5	えていま うえます。 分析結果 R6	75. す。新型 学校の を基にし めざそう 35. ~ できま
 上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れき徒の割合(①小学生) R2状況 新型コロナウイルス感染症対策のため、全国 	マ ・ で、 ・ 目標値 ②中学生)	実績(%) 到達して感は力に思います。 実績(%) 実績(%) 実績(%)	70. いない児 染症によ 様々なり るよう、 H30 29. ご ・運動 学校ごと	71.9 型電が、令 る影響も 大況ですの 教育委員 R1 32.0 習慣等調査 に感染症	69.7	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学校の を基にし めざそう 35. できめの
 上回った児童の割合(の R2状況) 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れき徒の割合(①小学生) R2状況 新型コロナウイルス感染症対策のため、全国体力運動能力・運動習 	T	実績(%) 到達して感は外のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	70. いない児 染症により 様々よう、 H30 29. ご ・ 運動 ご 施しまし	71.9 型電が、令 こる影響も で表で表して、 教育委員 R1 32.0 習慣等調査症にた。この	69.7	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学校の を基にし めざそう 35. できめの
*上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め ざそう値に比べて5.5 ポイント低い状況で す。 *力や運動能力に優れ 生徒の割合(①小学生) R2状況 新型コロナウイルス感 染症対策のため、全国 慣等調査は実施してい	で、学生) 「 目標値 」に中学生。 「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」	実績(%) 到達して感は力に思います。 実績(%) 実績(%) 実績(%)	70. いない児 染症により 様々よう、 H30 29. ご ・ 運動 ご 施しまし	71.9 型電が、令 こる影響も で表で表して、 教育委員 R1 32.0 習慣等調査症にた。この	69.7	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学校のし を基にし めざそう 35. できめの
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3 ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れ生徒の割合(①小学生) R2状況 新型コロカーのののでは、 第型コロカーののでは、 第型コロカーののでである。 は、 第型コロカーののでは、 第型コロカーののでは、 第型コロカーののでは、 第型コロカーののでは、 第二のでは 第二のでは 第二ので 第二の 第二の	で、学生) 「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「」 「	実績(%) 到達して感は外のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	70. いない児 染症により 様々よう、 H30 29. ご ・ 運動 ご 施しまし	71.9 型電が、令 こる影響も で表で表して、 教育委員 R1 32.0 習慣等調査症にた。この	69.7	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学校のし を基にし めざそう 35. できめの
 上回った児童の割合(の R2状況) 前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3ポイント低い状況です。 本力や運動能力に優れ生徒の割合(①小学生) R2状況新型コ策のため、運動に力を必要がある。 株力運動能力に変れません。 株別できません。 株別の折はできません 	で、 ・ 目標値 ②中学生) 目コ実た 備 児 国しん動れ を 全せ活さ	実績(%) 到達して感は外のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	70. いないりません。 いなになった。 いなになった。 130 29. で変をしまります。 ・学施も	71.9 理童が、令も こる影でする R1 32.0 関情感染な こた。した。	69.7	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学校の を基にし めざそう 35. できめの
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイント下降しており、め ざそうがに比い状況で ポイント低い状況で ポイント低い状況で またの割合(①小学生) R2状況 新型コ年のため、運動能力に優れ 実症対運動能力・返り は大いので は大いのできましている は大いのができません でした。	で、学生) 「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「」 「	実績(%) 到イり善美値に表送。 実績(%) 実績(%) 実績(%) で感はめ 変形を表送。	70. いないり	71.9 記載が、令 こる影響もの 教育で委員 R1 32.0 習慣感染染の にた。した。 る優良証	69.7 誘因・年ら各し R2 B因新策う Bは対よ 要は対よ 要は対する R2 Bの 要は対する R2 Bの 表記 表記 をおいます アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル	因・課題し、に とま校支 R3 ・ナな 展 上す 上は 大は 大は 大は 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い	て2.2ポー 課題は大 実態を分 に R4 ルス感染 体力優良	イント増えたいとえた。 ボートとよう。 R5 R5 一般に変更では、 一般に変更がある。	えていま えていま 考えます。 分析結果。 R6 ○ため実施 本力向上の 乗小学材	75. す。新型 学にし めざそう 35. を基でため選出
*上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、め、 ざそう値に比べ況で ポイント低い状況で まだの割合(①小学生) R2状況 新型コ策をあり、運動に力に優れ 実症対運動能力に要してよる は、数でも 状況分析はできません でした。 本力や運動能力に優れ	で、学生) 「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「」 「	実績(%) 到達して慰はめ 実績(%) 実績(%) 実績のいた。 実績のいた。 実績のいた。 実績のいた。 実績のいた。 実績のいた。 はめ を表して、 ののでは、	70. いない児 染様により、 H30 29. ご ・ 逆校し見ら ・ 単本 ・ 単本 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	71.9 記章が、令 こる影響も で表 で表 で表 で表 で表 で表 で表 で表 で表 で表	69.7 誘因・年ら各し R2 - ・型をな R2 - ・型をな R2	因・課題 と比較が、に 校 接を 8 R3 B・ナから	て2.2ポー 課題は大 実態を分 続してい R4	イント増えさいと考えた。 ボガし、す。 R5 R5 虚対策の	えていま えていま 考えます。 分析結果 R6 ○ため実施 よ力向上の	75. す。新型 学にし めざそう 35. を基に の交が選出
*上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイン ト下降しており、び5.1 ドでそう値に比い状況で オイントを運動能力に優れ 生徒の割合(①小学生) R2状況 新型コ策動能力にあり、運動に大いの 強力であり、運動によせが は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、なでも は、なできません ないでも ないでも ないでも ないでも ないでも ないでも ないでも ないでも	で、学生) 「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「」 「	実績(%) 到イり善美値に表送。 実績(%) 実績(%) 実績(%) で感はめ 変形を表送。	70. いないり	71.9 記章が、零も にこれ、数でする R1 32.0 間質感染こた。 る優良証 R1 6 21.5	69.7 誘因・年ら各し R2 - ・型をな R2 - ・型をな R2 - ・型をな R2	因・課題し、に組 とま校支 R3 上・サな 展 R3 R3	て2.2ポス 課題は大分 に R4 ルスでを優 の R4	イント増えたいとえた。 ボートとよう。 R5 R5 一般に変更では、 一般に変更がある。	えていま えていま 考えます。 分析結果。 R6 ○ため実施 本力向上の 乗小学材	75. す。新型 学にし めざそう 35. を基に の交が選出
**上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイントではいいである。 下降しており、め、ざそう値に比べていいでは、パイント低い状況です。 **力や運動能力に優れ生徒の割合(①小学生) R2状況 新型コ策をは実施にませんが、でした。 **本力や運動能力に変しませんでした。 **力や運動能力に優れきまんででした。 **力や運動能力に優れきまんででした。 **力や運動能力に優れきまんでした。 **力や運動能力に優れきまんでは、82状況	で、 目標値 で、学生) につりまでで、 で、学標 につりまでである。体でである。体でである。体でである。体でである。体でである。体でである。体でである。体でである。体でである。	実績(%) 到達して感はめ 実績(%) 実績(%) 運動が、て成またと、・運動能、て成またと、・運動能が、で成また。	70. いないり	71.9 記載が、令 で表示で表 で表示で表 で表示で表 で表示で表 で表示で表 で表示で表 で表示で表示で表示である。 で表示で表示である。 で表示で表示である。 で表示である。 で表示である。 で。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる	69.769.7誘因元え、とR2大年ら各し大型をな水型をなR2大型をなR2大型をなR2要要	因・比すご接内口じ、R3悪力が馬R3悪力が馬R3悪子ら県	て2.2ポス 課題は大 実態をひ R4 ルスでき優 R4	イント増えたいとまた。 R5 R5 R5 R5 R5	えていま えていま うたまま R6 のため実施 下力中学権 R6	75. す。新5 学校にし めざそう 35. を基での を表の でため選出
**上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイントではいいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、では、できまれて、できまれでは、できまれて、できまれでは、できまれて、できまれでは、できまれていれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれていまれていまれて、できまれていれていまれていれていまれていまれていれていまれていれていれていれていれていれていれていれていれていれていれていれていれていれ	で で で で で で で で で で	実績(%) で感はめ 実績(%) で感はめ 実績(%) がよって感はめ 実績(%) がよって 運動能、で成 乗績(%) 実績(%) 運動能力	70. いないり いないり 染症により、 H30 29. ご ・ 運 が こまり H30 19. 値 ・ 運 動 と し ・ 運 動 と し	71.9 記載が、令も こる影響すの でする 日間では、 でする 日間では、 でする 日間では、 こことでする。 こことでする。 日間では、 こことでする。 こことです。 こことです。 こことです。 こことでする。 ここ	69.7569.7778788889811122	因・ ・ は は は は は は は に は は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	て2.2ポス 課題は大分 実続してい R4 ルスでも優 R4 ルス感染	イント増えた。 イントとよう。 R5 R5 雇対策の R5	えていま えていま うため実 下方 下方 R6 R6 R6 R6	75. す。新雪のし す。学にし めざそう。 35. を基め、ささめ、選出 がさそう。 でたが選出
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン 下降しておい、で5.1 下降値に比い状況で ポイント低い状況で ポイントを運動能力に優れ 生徒の割合(①小学生) R2状況 新型コ策動能力を必ずを 対別の大力をで 地域でも 大次の表面とである。 本力に優れ は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、数でも は、なでも と、でも を運動能力に優れ は、なでも は、なでも と、など でした。 本力に優れ は、なでも は、なでも と、など でした。 本力に優れ は、なでも は、なでも と、など でした。 本力に優れ は、なでも は、なでも と、など でした。 本力に の割合(②中学生) の割合(②中学生) の割合(②の中学生) を表して、など を表して、など を表して、など をある。 を表して、など を表して、など を表して、など を表して、など を表して、など を表して、など を表して、など をある。 を表して、など をある。 を表して、など をある。 を表して、など をある。 を表して、など をある。 を表して、など をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。	で	実績(%) て感はめ 実績(%) で感はめ 実績(%) 力名実果 動が、て成 動能が、 実績(%) 実績 能、 で成 ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	70. いない児より、 いなにはおり、 はないり、 はなり、 はなり、 単数ではより、 単数ではより はいました はい はいました はいまし	71.9 記載が、令も こる影響する 日間である。 R1 32.0 日間である。 る優良証 R1 6 21.5 日間である。	69.7569.7778788891121222	因・ま校支 とま校支 R3 展りが馬 R3 展りがあります。 R3 展りがあります。 展3 とする。 展3 展4 とする。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展4 とうる。 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 	て2.2ポ大分V 課題をて R4 ルスで力優 R4 ルスである ルスである。 R4 ルスである。	イント増えて、 イントと、す に対し、す R5 に対策で体 R5 に対策で係	えていま えてます。 ええま結果 R6 のため向上の 下列の学材 R6 のため向学材 R6	75. す。新型の を基にし めざそう 35. をの力で が選出 をさるの でたが選出
を上回った児童の割合(の R2状況 前年度から2.2ポイン から2.2ポイン から2.2ポイン から2.2ポイン から2.2ポイン かって5.1 でもではいればいいです。 本力に低いいればいではいいでは、 を運動能力に優れ を変している。 を変しているでは、 を変しているできません。 を変しているのでできません。 を変しているのでできません。 を変しているのでできません。 を変しているのでできません。 を変しているのでできません。 を変しているのでできません。 を変しているのできます。 を変しているのでできます。 を変しているのできます。 を変しているのできます。 を変しているのできます。 を変しているのできます。 を変しているのできます。 を変しているのできます。 を変しているのでできます。 を変しているのでできます。 を変しているのでできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているできます。 を変しているでできます。 を変しているでできます。 を変しているででをできます。 を変しているででをできます。 を変しているででをできます。 を変しているででをできます。 を変しているででをできます。 を変しているででをできなななななななななななななななななななななななななななななななななな	で	実績(%) て感はめ 実績 (%) で感はめ 実績 (%) 大き、 実	70. いないにより、 いなになう、 H30 29. ご 連校し見 におけ 運校し見 はおけ 運校しまします。 19. 6 できしまします。	71.9 型電が、零もの でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで	69.7569.7778788891121222	因・ま校支 とま校支 R3 展りが馬 R3 展りがあります。 R3 展りがあります。 展3 とする。 展3 展4 とする。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展4 とうる。 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 	て2.2ポ大分V 課題をて R4 ルスで力優 R4 ルスである ルスである。 R4 ルスである。	イント増えて、 イントと、す に対し、す R5 に対策で体 R5 に対策で係	えていま えてます。 ええま結果 R6 のため向上の 下列の学材 R6 のため向学材 R6	75. す。新型の を基にし めざそう 35. をの力で が選出 をさるの でたが選出
*上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイントでより、である。 前年度から2.2ポイントが、である。 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 とで、 でで、 とで、 とで、 とで、	でか	実績(%) て感はめ 実績(%) で感はめ 実績(%) 力名実果 動が、て成 動能が、 実績(%) 実績 能、 で成 ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	70. いないにより、 いなになう、 H30 29. ご 連校し見 におけ 運校し見 はおけ 運校しまします。 19. 6 できしまします。	71.9 型電が、零もの でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで表 でで	69.7569.7778788891121222	因・ま校支 とま校支 R3 展りが馬 R3 展りがあります。 R3 展りがあります。 展3 とする。 展3 展4 とする。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展4 とうる。 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 	て2.2ポ大分V 課題をて R4 ルスで力優 R4 ルスである ルスである。 R4 ルスである。	イント増えて、 イントと、す に対し、す R5 に対策で体 R5 に対策で係	えていま えてます。 ええま結果 R6 のため向上の 下列の学材 R6 のため向学材 R6	75. す。新型の を基にし めざそう 35. をの力で が選出 をさるの でたが選出
注上回った児童の割合(() R2状況 前年度から2.2ポイントざみのまた。 下そうににいれている。 下そうしににいれている。 では、アイントでは、アイントでは、アイントでは、アイントでは、アイントででは、アイントででは、アイントでは、アイントで、アクで、アクで、アクで、アクで、アクで、アクで、アクで、アクで、アクで、アク	で	実績(%) て感はめ 実績 (%) で感はめ 実績 (%) 大き、 実	70. いいない いいない いいない になり いいない になり いいない はいい はい でいま はい	71.9 電が、響もの量 高いで委 R1 32.0 関性にた。した。 る優良 R1 21.5 関性にた。した。 る優良 R1 21.5 関性にた。した。 る優良 にたししま にたした。	69.7569.7778788891112122	因・ま校支 とま校支 R3 展りが馬 R3 展りがあります。 R3 展りがあります。 展3 とする。 展3 展4 とする。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 展4 とうる。 展4 とうる。 展3 展4 とうる。 	て2.2ポ大分V 課題をて R4 ルスで力優 R4 ルスである ルスである。 R4 ルスである。	イント増えて、 イントと、す に対し、す R5 に対策で体 R5 に対策で係	えていま えてます。 ええま結果 R6 のため向上の 下列の学材 R6 のため向学材 R6	75. す。新型のし す。学基に めざそう。 35. を基め、でたが選出 でたが選出

とり巾まち・ひと・ 基本的施策 ②子育て世			中义 中公 (中州)	KPI	要因と	. 沐咫			
学校生活における経済的支	そ後により		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
子育て環境が良いと思う市	民の割合	実績(%)	77. 9	76. (84.
R2状況	+++- hh: (* ∀ ∀ ∀ ∀ ∀ ∀ ∀ ∀ ∀ ∀	(位)) - し	10 At 2	誘因・要			· J. J. 1	量じて	、ファル
前年度から4.3ポイン ト増加し、めざそう 値(R6)に比べて3.7%	が、約76 えられま	~80%(子 す。	育て環境	竟が良い	の世帯がと思う市民	民の割合)	という	結果に表	れている	ものと考
少ない状況です。	る本施策 ると考え	への理解られます。	や、コロ	ナ禍にお	.3ポイン l 3ける経済	的支援と	なったこ	とが数値	直上昇の勇	要因であ
	ます。	ざそう値		ためには	は、本施策	内容の周	知や更な	る理解を	と図る必要	要があり
 基本的施策 ③将来を担			ンクート							
受学金新規利用者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそうイ
R2状況		実績(人)	8	1;	3 17 誘因・要	天 · 課題				53
R2年度の新規利用者					の修学支持	爱新制度。	として、			
数は4人で、前年度か					付型奨学					爰が手厚
ら1人減少しました。 H30年度からの累計は					Ӳ響を与え ミえ、今後					李•研究
17人でめざそう値と		必要があ			,,,,,	2 7 01 7	5 1113 211	C - (- 0)	2 W 14 17.11	<u>9176</u>
の差は36人です。	借老 ,古将	学金新規契約	5字卷 (1197) 年 度 か き カ	/ 田 計 /					
			7有数 (П30	一段からり.	・糸町)					
^{金本円旭泉} サバヤ 貝 学校生活に満足している			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
生徒の割合 (東地域)	- I	実績(%)	90.0	85.7						95.
R2状況 前年度から2.4ポイン	小学校で	け 満兄	度が100°	%である	<u> 誘因・要</u> のに対して			7%とナ	きく差が	ありまし
ト下降しており、目					校の差や					
指そう値に比べても					小学校で					
11.7ポイント低い状 況です。		教育の元		教育貝包	として重	点を直い	いて収組の	・児里の神	句足及に*	つなかつ
		評価における	5学校生活注	満足度評価	(東地域のみ	.)				
基本的施策 ⑤校外教育 自 主的に学習に取り組 む		T 1	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
日エの他子首に成り組む 生徒の割合(①小学生)	, /L <u>=</u>	実績(%)	75. 0				IV T	Ko	KO	80.
R2状況	We the		() = - 11		誘因・要					L. 61.)
前年度から5ポイント 上昇し、めざそう値	数値とし	ては、め	さてり値 トス改金	を達成し 空が考え	ノた数値に ・よれます	なりまし	ルた。 字核 - 原音σ	ひげ葉の	V 書や家庭	ほの働き か受け止
に達した数値となり	めの間に	はギャッ	プがあり	、児童の)意識に対	して家庭	の見方は	は厳しい個	頁向が続い	ハていま
ました。					ど、学校					
	_{で、}	においく	も児重か	進んで行	学習に取り	組む様士	が埋解る	これるよう)取り組ん	していさ
		評価における	(字皮类羽=							
_ 自主的に学習に取り組む		十一川(こわい)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそうり
日王的に子首に取り組む 生徒の割合(②中学生)	7九里。	実績(%)	<u>нзо</u> 76. 0				K4	СЯ	KO	<u> 80.</u>
R2状況					誘因・要	因・課題			1	
前年度からは横ばいの状況です。めざそう値に対しては、4ポイント低い状況で す。	と家庭の 向が続い 上に努め	受け止め ています。 ることで	の間には 。今後も 、家庭に	ギャップ タブレッ おいても		生徒の意 活用など んで学習	:識に対し 、学校と !に取り組	、て家庭の : 家庭とか !む様子か)見方は [§] 連携し [*] [§] 理解され	厳しい傾 て学力向 れるよう
	改善に努	めます。								
	備考:学校	評価における	5家庭学習記	評価						
1	1									

人 乳肤就山 4 -			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
合計特殊出生率		実績	1. 47		未公表	1				1. 7
R2状況		2 5/123				因・課題	<u> </u>	<u> </u>	-	
R2年度の数値は未公	令和2年達	速報値:1	合計特殊と				具:1.41	※市町村	別は未么	公表)に
表です。			ら全国で							
【参考】R1年度数值			ています			•				
はH30年度から0.05ポ	令和元年	度数値は	1.40で、	平成30年	度の1.45	から0.05	ポイント	減少しま	した。数	女値が低
イント減少してお			[との差が							
り、めざそう値			産み育て							
(R6) に比べて0.37	備が必要	です。								
ポイント少ない状況			~ / N = ~ 1 ×	_ W. 2: 111 5* -	7.45 Fr 16/ / 4 1	- 104F) m	1.40.500	1 A F 16	₩1 muul	+ 2 F 1
です。			の分母の人! 涯何人の子(b~49威)(/	女性に限定	し、各年齢	ことの出生	学を足し
	47 C. A	サスロルエ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそ
年少人口(0~14歳)		実績(人)					1/4	No	NO	6,
R2状況			0,022			因·課題			<u> </u>	0,
前年度から156人減少	毎年の出	上米が年	ね減少し				口长年力	減小して	ルキキ	~ h
しており、めざそう			くったこと							
値 (R6) に比べて447	は、みこ	ナリバーPV オカマシアフ	とともに	はよけん	ナン サ 古 四	宗 土 仲 し	サント DI	7世/夕こる	、つしいる	トリ。 L ドル士-
			こことに							
人少ない状況です。	教育を文	11) 2 4 1	.いて応り	八を増や	し、丁月	く世帯の	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	: " ///[山州	神で凶い	ノエ9。
	備考:住民	基本台帳に	おける年少	人口(各年度	度4月末時点)				
基本的施策 ①子育て応	援情報の	発信								
子育で応援アプリ「みと	921	70111	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそ
の年間ダウンロードユー		実績(人)					1(1	Ro	T(U	3
R2状況	/ 2/	12 5/12 5/12				因・課題				
前年度から45人減少	母子健康	手帳発行	時や出生	後の児童			チラシに	よりアフ	『リの活月	目につい
しており、めざそう			が、ダウ						/ ·/ IH/	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
値 (R6) に比べて66			や子育て						これがは	、 複数
人少ない状況です。			、手できる							
			、子育て							
	ます。	+KL 1/11/14	, 1 H C	(C)(C)	女心少性	1/95,007/000	, A 7 X	アントランツ 日		LE / (
	۵,90									
	備考:									
其末的按案 ②働之報。		宇								
基本的施策 ②働く親へ 医本的施策 ②働く親へ 医育施設と受棄保育施認	の支援充	実	НЗО	D1	P2	D3	P/I	P5	P6	めざそ
保育施設と学童保育施設	の支援充		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそ
保育施設と学童保育施設 児童数	の支援充	実 実績(人)		0	0		R4	R5	R6	めざそ
保育施設と学童保育施認 児童数 R2状況	·の支援充 かの 持機	実績(人)	0	0	0 誘因・要	因·課題				
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0	<u>の支援充</u> での 待機 保育施設	実績(人) ま養(人)	0	の入所者	0 <mark>誘因・要</mark> は、飽和	<mark>因・課題</mark> 状態では	あるもの	の、待機	銭児童は多	後生し~
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう	の で の で で で で で で で で で で で で で	実績(人) 実績(人) と学童保 ん。保育	(育施設へ)が施設では	の入所者、、年度が	0 <mark>誘因・要</mark> は、飽和 進むにつ	<mark>因・課題</mark> 状態では れて入所	あるもの者が増え	の、待機 .、私的待	関重は発 機(入戸	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持して	の支援充 の 待機 保育を 保育を 保りまる 保定希望	実績(人) 実績(人) さと学童保 にん。保育	の 注 育施設へ 施設では i機。他の	の の 入所者 、年度が 施設を希	0 誘因・要 は、飽和 進むにつ 望すれば	因・課題 状態では れて入所 入所可能	あるもの 者が増え) が発生	の、待機 、私的待 :するのに	提児童は多 機(入原 対し、質	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう	の支援充 次の待機 保育施設 保育を設 に 保育を に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	実績(人) 実績(人) と学童保 人。 保育 しての待後半に向	6 育施設へ 施設では 機。他の けて高学	の入所者 、年度が 施設を希 年児童が	0 誘因・要 は、むいに はむすれし いは いばいし、	四・課題 状態では れて所 で 入所 で が が で が が で が が で が が で が が で が で が	あるもの 者が増え) が発生 いく傾向	の、待機 、私的待 するのに jがありま	児童は多様(入房 対し、質	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持して	の支援充 次の待機 保育施設 保育を設 に 保育を に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	実績(人) 実績(人) と学童保 人。 保育 しての待後半に向	の 注 育施設へ 施設では i機。他の	の入所者 、年度が 施設を希 年児童が	0 誘因・要 は、むいに はむすれし いは いばいし、	四・課題 状態では れて所 で 入所 で が が で が が で が が で が が で が が で が で が	あるもの 者が増え) が発生 いく傾向	の、待機 、私的待 するのに jがありま	児童は多様(入房 対し、質	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持して	の支援充機の持機保育を表別である。	実績(人) 実績(人) と学童保 ん。保育 しての待 後半に向 度途中で	育施設へ 施設では 機。他の けて高学	の入所者 、年度が 施設を希 年児童が 童が発生	勝因・ ・要和、 ・選手が がはままました。 ・ののでは、 がはままます。 ・ののでは、	因・課題 状態で入所で れて所で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	あるもの 者が増え) が発生 いく傾向	の、待機 、私的待 するのに jがありま	児童は多様(入房 対し、質	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。	の支援充 その特機 保育施設 保育を の で で で で で で も の き で も の も に り ま の も り も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら	実績(人) 実績(人) と学童保 人の。保育によっての特別では、「人のでは、「人」では、「大き」に、「大き」に、「大き」には、「ち」には、「き、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「いき、「ち」には、「き、「いき、「ち」には、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき	6 育施設へ 施設では 機。他の けて高学	の入所者 、年度が 施設を希 年児童が 童が発生	勝因・ ・要和、 ・選手が がはままました。 ・ののでは、 がはままます。 ・ののでは、	因・課題 状態で入所で れて所で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	あるもの 者が増え) が発生 いく傾向	の、待機 、私的待 するのに jがありま	児童は多様(入房 対し、質	・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持して	の支援充 その特機 保育施設 保育を の で で で で で で も の き で も の も に り ま の も り も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら	実績(人) 実績(人) と学童保 人の。保育によっての特別では、「人のでは、「人」では、「大き」に、「大き」に、「大き」には、「ち」には、「き、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「いき、「ち」には、「き、「いき、「ち」には、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき	育施設へは 施設ではの 機。他の けて高学の の待機児 保育施設の	の入所者 、年度が 施設を希 年児童が発生 寺機児童数	0 	因・課題 状態では所 れて所して 減少体制 1日時点)	あるもの 者が増え) が発生 いく維持し	のの、待機 、私的のに ごするのに ごがありまま	と児童は多様(入戸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	巻生し 折施設る 学童保育
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持して いる状況です。	の支援充 その特機 保育施設 保育を の で で で で で で も の き で も の も に り ま の も り も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら	実績(人) 実績(人) と学童保行人。保育にてのにている。 後半にで 施設と学童	で 育施設へは 施設ではの がでの がの 待機児 保育施設の H30	の入所者 、年度が 施設を希が 年児童が発生 寺機児童数	0 誘因・要 和 数 は、むますがしますがいます。 (各年度4月 R2	因・課題 状態で入可し 大滅少 は が れて所し は が は が は が は が れ に う に う に う に う に る い る い る い る に る に る に る に る に る に る	あるもの 者が増え) が発生 いく傾向	の、待機 、私的待 するのに jがありま	児童は多様(入房 対し、質	発生して 所施設な 学童保育
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望	の支援充 その特機 保育施設 保育を の で で で で で で も の き で も の も に り ま の も り も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら も ら	実績(人) 実績(人) と学童保 人の。保育によっての特別では、「人のでは、「人」では、「大き」に、「大き」に、「大き」には、「ち」には、「き、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「ち」には、「いき、「ち」には、「き、「いき、「ち」には、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき、「いき	で 育施設へは 施設ではの がでの がの 待機児 保育施設の H30	の の 入所者 、年度が 施設を 新発生 寺機児童数 R1 306	0 	因・課題 状態では所 れて所して 減少 体制 1日時点)	あるもの 者が増え) が発生 いく維持し	のの、待機 、私的のに ごするのに ごがありまま	と児童は多様(入戸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発生して 所施設を 対電保証 めざそ
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数	の支援充 で 待機 保育を 保育を 保育を 保育を 保育を 保育を 保育を で で で で で で で で で で で で で で り で り で り	実績(人) 実績(人) と学童保 の (人) で (人)	では を育施設へは 施設では 機。他の 引けて高学 の待機児 保育施設の H30 330	の の 入所者 、 年度が 年児童が 音機児童数 R1 306	0 	内・課題 大態では所能 大れて所しな制 1日時点 R3 内・課題	あるもの 者が増え) が発性 いく傾向 を維持し R4	のの、待機 、私的のに ごするのに !がありきま	送児童は 経 機 (入戸 対 し、 き す。 き す。 R6	発生して 所施設な 対童保証
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表	の支援を の存機 保育りまる 限にはも 保育を できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	実績(人) と学童保育 にんこく にんこく にんこく にんこく にんこく にんしい と学童 になる と学童 になる と学童 と 実績(人)	では を育施設へは が一般ではの がの待機児 保育施設の (は減少傾	の の 入所者 、 、 、 、 、 、 に た で 、 を が 発生 ・ 、 を が 発生 ・ 、 を が 発生 ・ 、 等性 の の の の で 、 の の の で 、 の の の の の の の の の の の の の	Total	内・課題 大能で入可し体 はの はの にの にの にの にの にの にの にの にの との との <td>あるもの 者がが発 () い を 維持 し R4 より 減少</td> <td>の、待機 、、 、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td> <td>送児童は 接機 (入房 大対し、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>発生して 所施設で 対量保証 めざそ</td>	あるもの 者がが発 () い を 維持 し R4 より 減少	の、待機 、、 、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	送児童は 接機 (入房 大対し、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発生して 所施設で 対量保証 めざそ
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。	の支援を の存機 保育り定は後 限所今後 の大援を の存機 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	実績(人) と学童保育 にん。ていて半年 を設と学童 を設と学童 を設と学童 を設と学童 を設と学童	で で で で で で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の に の の の に の の の の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	の の の の 大所度を 立 に に に に に に に に に に に に に	Total Control Cont	因・課題 状態で入可し体 に入所しな に は に た に た に た に た に た に た に た に た に た	あるもの者がは発質しいな維持し、 R4 より開始し	の、特機 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	送児童は 提機し、 芸士。 R6 、全国の シ(約847)	発生して 所施設で 対立 の出生変
R育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、かざそう値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表です。 【参考】R1年度数値	の支援の です機 のです機 のですりでは後 一ででする。 では後 一ででする。 では後 でする。 でし。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でる	実績(人) と学童保育に (人) では、	で 育施設へはの が一機。 がでの待機。 はでの待機。 はでの待機。 はでの特機。 はでのはでのはです。 はでのはできる。 はではできる。 とできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はで。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はでをもでも。 はでをもでも。 はできる。 はでも。 はでも。 はでも。 はでも。 はでも。 はでもでも。 はでもでも。 はでもでも。 はで	の の の の 大所度を 立 を 立 で に 概 に に の 大所度を 立 を 立 を 立 を で 、 概 に の で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の の の の の の の の の の の の の	Total Control Cont	因・課題 状能で入可し体 がれて所少、体 は 1日時点 B 1日時点 B 1日時点 B 1日時点 B 1日時点 B 1日時点 B 1日時の B 1日時の B 1日時の B 1日の と と と と と と と と と と と と と と と と と と	あるものえ生向し おがく維持 の開発傾持 は査丁、 の開発の はから は変がした。 はなり はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	のの、待機 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 建児童は で で で で で に で に で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	き生しる ・ 一 が が が が と で で で で で か が と で で で で で で で で で で か が と で で の 万 婚 者 で の で で で で で で で で で で で で で で で で で
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表です。 【参考】R1年度数値は、H30年度から24人減	の 支援の で 大 接 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学童保育信仰で 1 を 2 を 3 を 3 を 4 を 5 を 5 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	では でででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でははののでは、 ではは、できれる。 ではは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生しる ・
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人減 少しており、めざそう	の 支援の で 大	実績(人) と学童保育信仰で 1 を 2 を 3 を 3 を 4 を 5 を 5 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	で 育施設へはの が一機。 がでの待機。 はでの待機。 はでの待機。 はでの特機。 はでのはでのはです。 はでのはできる。 はではできる。 とできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はで。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はでをもでも。 はでをもでも。 はできる。 はでも。 はでも。 はでも。 はでも。 はでも。 はでもでも。 はでもでも。 はでもでも。 はで	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生してできます。 ・ 本生設保 では、 から から から がった がった がった がった から がった から がった から から がった から
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人減 少しており、めざそ人少 値(R6)に比べて4人少	の 支援の で 大 接 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学童保育信仰で 1 を 2 を 3 を 3 を 4 を 5 を 5 を 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	では でででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でははののでは、 ではは、できれる。 ではは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生してできます。 ・ 本生設保 では、 から から から がった がった がった がった から がった から がった から から がった から
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続き0 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人減 少しており、めざそう	の 支援の	実績(人) と学童保のに中 章 を設と 学 は と 学 を と 学 を と 学 を と 学 を と 学 を かい と かい	の 全育施設へはの を構しての 機ので 機ので はの はの はの はで はで はで はで はで はで はで はで はで はで	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生しる ・ 本生設 ・ 本生 ・ 本 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人が 少しておりに比べて4人少ない状況です。	の 支援の で	実績(人) と学童保のに中 と学・ を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 のの人4千産の のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 の	の 全育施設へはの を構しての 機ので 機ので はの はの はの はで はで はで はで はで はで はで はで はで はで	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生してできます。 ・ 本生設保 では、 から から から がった がった がった がった から がった から がった から から がった から
保育施設と学童保育施認 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人の がです。 【をおいてない状況です。 基本的施策 ④子育で世	の 支援 保 に する で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学童保のに中 と学・ を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 のの人4千産の のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 の	の 全育施設へはの を構しての 機ので 機ので はの はの はの はで はで はで はで はで はで はで はで はで はで	の の 入年設 に に で に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(A誘和) すい・飽にれしい度Rと公・年は人のを取れつば、より月表要実 1	因・課題 状れて所少、 は下でである。 はいでは、 もっと。 は、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	き生しる ・ 本生設 ・ 本生 ・ 本 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大
保育施設と学童保育施設 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人が 少しておりに比べて4人少ない状況です。	の 支援 保 に する で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学 ののに中 学 を は、人) と と で ののに中 学 を は は と で のの を で で のの を で で で のの を で で のの を で で で で	ではいる。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	の の の 大年設児が 原児が 原児が 原児が 原児が で で で で で で が で が、概 で が、概 で が、の 子 と 、 で が、の 子 と 、 の で が、 の で が の で が の で が の で が の で が の の の の の の の の の の の の の	誘は進望退し(各)誘和) すいます所な年R2公・年は人の前展2公・年は人の前R2R2R2R2R2R3R4R4R5R5R2	大田 	あ者ががく維 も増発傾持 R4 よ査てと よ査でと は強始晩測	の、特機待にますが、 で、利的のりきでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	提児童は 種機(し、 ・ (約 4 7 す)。 R6 全約847 全約847	を生施電 めざ 出人者れり 出人者れりま
保育施設と学童保育施認 児童数 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。 【参考】R1年度数値 は、H30年度から24人の がです。 【をおいてない状況です。 基本的施策 ④子育で世	の 支援 保 に する で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学童保のに中 と学・ を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 を設と学 のの人4千産の のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 のの人 の	ではいる。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	の の の 大 に に に に に に に に に に に に に	誘は進望退し(各)誘和) すいます所な年R2公・年は人の前展2公・年は人の前R2R2R2R2R2R3R4R4R5R5R2	大田 	あるがく維 も増発傾持 R4 よ査でと取 は別の地域を は別のである。	の、特機行いままでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	提児童は 機 機 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	き生施電 めざ 出人者れり めざそ 生真のらま さそ
保育施設と学童保育施設 R2状況 前年度から、終結きの 人であり、を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表です。 よ H30年度からざそ人の 値(R6)に比ったです。 は、H30年度からざそ人うり は、H30年度からざそ人うりない状況です。 基本的施策 ④子育ての不安を持つ保護	の 支援 保 に する で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学 ののに中 学 を は、人) と と で ののに中 学 を は は と で のの を で で のの を で で で のの を で で のの を で で で で	ではいる。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	の の の 大 に に に に に に に に に に に に に	0誘因、 ・飽にれしい ・変和つば、よ株式 ・ <td> 大田 </td> <td>あるがく維 も増発傾持 R4 よ査でと取 は別の地域を は別のである。</td> <td>の、特機行いままでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中</td> <td>提児童は 機 機 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大</td> <td>き生施電 めざ 出人者れり めざそ 生真のらま さそ</td>	大田 	あるがく維 も増発傾持 R4 よ査でと取 は別の地域を は別のである。	の、特機行いままでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	提児童は 機 機 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	き生施電 めざ 出人者れり めざそ 生真のらま さそ
保育施設と学童保育施記 児童数 R2状況 前年度からめざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。考】R1年度数値は未公表 です。考】R1年度数値は未公表 には、H30年度いめざて4人少ない状況です。 がは、H30年度がらざるである。 は、H30年度がらされて4人少ない状況です。 を持つない状況です。 基本的施策 ④子育ての不安を持つ保護 子育ての不安を持つ保護	の 支援 保 に する で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学童保のでで、	では を を を を を で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	の の の 大年記 に の 大年記 に の 大年記 に で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で あ で の で あ で の で あ で の で あ で の で あ で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	誘は進望退し各誘和で等に・飽にれしい度2公・年は人の前R2公・年は人の前R2公・年は人の前R2 26.7要	内・課題は所能で表す。内・課題は所能で表す。取りませる。R3取りませる。取りません。取りません。R3取りません。R3R3R3R3R3	あるがく維 も増発傾持 R4 よ査でと取 よ査でと取 R4 R4	の、 特機 (、する (、する () が () で () で () で () で () で () で () で () で	提児童は 機対すす。 R6 ・ 文名 ・ 文名 ・ 文名 ・ 文名 ・ 文名 ・ で表 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる	き 生 施 全 施 金 さ 一 出 し 者 れ り め さ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 2 3 2 3
保育施設と学童保育施認 R2状況 前年度から引き続きの 人であり、めざそう 値(R6)を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表 です。考】R1年度数値は未公表です。考】R1年度数値(R6)に比べて4人少ない状況です。 基本的施策 ④子育ての不安を持つ保部 を持つて世界での表しては、100円では、100円	で の で で で で で で で で で で で で で	実績(人) と学 金 保育 待 向で 電 と 学 は と 学 は と 学 を と と き は と 学 を と と き は と 学 を ま は と 学 を ま は 生 口 人 4 産 の し の し 大 援 を ま は (%) を か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	の 育施設へはの学児 保育施設で他高機 (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は)	の の の 大年設児が 重機 R1 306 同報で方・ R1 30.2 不 R1 30.2	誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<	内大大 <t< td=""><td>あ者) いを R4 よってと取 R4 よってと取 R4 不安</td><td>の、特機待にまま の、和ののりき にするかい R5 には、やまかって には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、</td><td>後児童は 様機 大学機 大学機 大学 R6 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ の ・ で ・ の ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で</td><td>き 生 地 と さ と と と と と と と と と と と と と</td></t<>	あ者) いを R4 よってと取 R4 よってと取 R4 不安	の、特機待にまま の、和ののりき にするかい R5 には、やまかって には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	後児童は 様機 大学機 大学機 大学 R6 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ 公 ・ の ・ で ・ の ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	き 生 地 と さ と と と と と と と と と と と と と
保育施設と学童保育施認 R2状況 前年度からめざそう 値 (R6) を維持している状況です。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数値は未公表です。 よ H30年度から24人人のない状況です。 は L0 にはいるがです。 基本的施策 ④子育ての不安を持つ保護 を持つの不安を持つ保護 R2状況 R2によりにはいては、 ない状況です。 を 1 は 上です。 を 2 は 上です。 を 3 は 上です。 を 3 は 上です。 を 4 子育ての不安を持つ保護 を 4 子育での不安を持つ保護 を 1 は 上でものです。 を 3 は 上でものです。 を 4 子育での不安を持つ保護 を 5 にはいまりなどには、 ない状況です。	 でののでは、 できないできない。 できないできないできない。 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	実績(人) 実績(人) 実績(人) とど。て半途とり、では、とり、のに中で、意味をは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で	の 育施設へはの学児 保育施設で他高機 (保育施設の4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。	の の の の の た の た の	誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<	内大れ入減う日は取取はのの内のの内のの内のの内のの内のの内のの内のの内のの内のの内のの	あ者) いを R4 よってと取 R4 よってと取 R4 不ない。	の、 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	選児童はみた選児童は入りR6へ約化で要R6R6R6R6いよるいよる	を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の
保育施設と学童保育施設 R2状況 前年度から、終維持している。 (R6) とです。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数は未会している。 R2状況 R2年度の数値は未会を考】R1年度数値は未ら24人のです。 参、H30年度、めべて4人のです。 は、H30年度、以比です。 を考】R1年度からでである。 は、H30年度、以比です。 を考】R1年度がら24人のでは、 が、にない状況です。 を方での不安を持つ保証 本的施策 ②は、子育つ保証 を表している。 本の施策 ②は、子育の保証 を表している。 を表している。 を表している。 にない、にない、にない、によるによる。 にない、によるによる。 を表しての不安を持つない。 を表しての不安を持つによる。 にない、によるによる。 には、日2によるによる。 には、日2によるによる。 を表している。 を表している。 には、日2による。 には、日2による。 には、日2による。 には、日2による。 のでの不安を持つによる。 には、日2による。 のでの不安を持つによる。 のでの不安を持つによる。 には、日2による	 でのの保お限所今 備者 できる <li< td=""><td>実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの</td><td>の 全育施設で化高機 はの学児 保育施設の名 (はの学児 (はの学児 (は動態) すし、 は動態とる、 (は動態とる、 (は動態) は、 (は動態) は、 (は動態とる、 (はから) は、 (はから) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td><td>の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1</td><td>誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<</td><td>内大れ入減う日はR3表は所表はのの<tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の</td></tr<></td></li<>	実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の 全育施設で化高機 はの学児 保育施設の名 (はの学児 (はの学児 (は動態) すし、 は動態とる、 (は動態とる、 (は動態) は、 (は動態) は、 (は動態とる、 (はから) は、 (はから) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1	誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<	内大れ入減う日はR3表は所表はのの <tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の</td></tr<>	あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」	の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ	世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では	を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の
保育施設 R2状況 前年度から、終維持して (R6) とです。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 前年度あり、を維す。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数はは未会とでして ※ H30年度、めべて4人のです。 ※ H30年度、以比す。 ※ H30年度、以比す。 ※ H30年度、以比す。 ※ 大方での不安を持つない状況です。 本的施策 (R6) にです。 ※ R2状況 R2年度の数でて4人のです。 ※ R2状況 R2年度、以上です。 ※ R2状況 R2年度、以上です。 ※ R1年度がらごでも、のででは、 がにない状況です。 本的施策 (R6) にです。 本の本での不安を持つない、によい、によい、によい、によい、によい、によい、によい、によい、によい、によ	 でのの保お限所今 備者 できる <li< td=""><td>実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの</td><td>の 育施設へはの学児 保育施設で他高機 (保育施設の4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。</td><td>の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1</td><td>誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<</td><td>内大れ入減う日はR3表は所表はのの<tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の</td></tr<></td></li<>	実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の 育施設へはの学児 保育施設で他高機 (保育施設の4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がのの4 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がいる。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。 (は)がし。	の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1	誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<	内大れ入減う日はR3表は所表はのの <tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の</td></tr<>	あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」	の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ	世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では	を 生施 生施 を が的 と を を を が の で を を で を で を の で の で の の の の の の の の の の の の の
保育施設と学童保育施設 R2状況 前年度から、終維持している。 (R6) とです。 基本的施策 ③出産希望 出生数 R2状況 R2年度の数は未会している。 R2状況 R2年度の数値は未会を考】R1年度数値は未ら24人のです。 参、H30年度、めべて4人のです。 は、H30年度、以比です。 を考】R1年度からでである。 は、H30年度、以比です。 を考】R1年度がら24人のでは、 が、にない状況です。 を方での不安を持つ保証 本的施策 ②は、子育つ保証 を表している。 本の施策 ②は、子育の保証 を表している。 を表している。 を表している。 にない、にない、にない、によるによる。 にない、によるによる。 を表しての不安を持つない。 を表しての不安を持つによる。 にない、によるによる。 には、日2によるによる。 には、日2によるによる。 を表している。 を表している。 には、日2による。 には、日2による。 には、日2による。 には、日2による。 のでの不安を持つによる。 には、日2による。 のでの不安を持つによる。 のでの不安を持つによる。 には、日2による	 でのの保お限所今 備者 できる <li< td=""><td>実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの</td><td>の 全育施設で化高機 はの学児 保育施設の名 (はの学児 (はの学児 (は動態) すし、 は動態とる、 (は動態とる、 (は動態) は、 (は動態) は、 (は動態とる、 (はから) は、 (はから) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td><td>の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1</td><td>誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<</td><td>内大れ入減う日はR3表は所表はのの<tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>所放電 め 出人。者れり め 20.5 が的・</td></tr<></td></li<>	実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(人) 実績(のに中 学 満(人) 大のの支 (人) 実績(のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の 全育施設で化高機 はの学児 保育施設の名 (はの学児 (はの学児 (は動態) すし、 は動態とる、 (は動態とる、 (は動態) は、 (は動態) は、 (は動態とる、 (はから) は、 (はから) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	の、施年童 時機 R1 306 の大年設児が 電機 で概いの子 子どで 子どで 子どで R1 30.2 スキ事 1	誘は進望退し(各)(素)(本)(表)<	内大れ入減う日はR3表は所表はのの <tr< td=""><td>あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」</td><td>の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ</td><td>世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では</td><td>所放電 め 出人。者れり め 20.5 が的・</td></tr<>	あ者) いを R4 よ査でと取 R4 に」が R4 に」が のえ生向し 不ない」	の、、すがて 特的のりき R5 した、やます でそく ででってってってってってってってってってってってってってってってってってってっ	世界では 選児では 選児では では では では では では では では では では	所放電 め 出人。者れり め 20.5 が的・

<u> こうゆみう・いこ</u>	<u> </u>	到土物口		T 7477	KLI	女四に	. 环熄			
基本的施策 ⑤子育で										
地域における子育てえ	5援事業へ		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
の協力者数		実績(人)	233	217	7 196					250
R2状況					誘因・要	因・課題		•		<u>"</u>
前年度から21人減少	> 数値が減	沙した理	由は、コ	ロナ禍に	より、指	標の基礎	となる子	・育て講座	の開催か	3半減
しており、めざそう					会員登録				2 · proppare	1 024
値 (R6) に比べて5					積極的な				より、様	4.力者数
人少ない状況です。			<u> </u>	(4015)	1民1空日プルム	u rr /⊥ ▼ > > .	11年 (于	. • > / -] / (-	- 50 / V	W/J 11 30
	278 ()	<i>5</i> , <i>5</i> , <i>6</i> , <i>7</i>								
	借表・乙含	アウ採サポー	_ 月 _ 初 宁 孝	** (年間))、子育て応		- 粉 (年間)	ファミリ	ニサポート	センター今
		分)の合計	7 pic/C1	女 (十回)		1友国豆鸡1	奴 (十间)	, / / ~ /	241	ピング 云
基本的施策 ⑥出会レ	いの場の創出									
	/// - /1111		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
婚姻届受理数		実績(件)	209	196						230
R2状況		12 202 (11 7				因·課題				
前年度から25件減少	婚姻届σ	受理件数	け減少値	向にあり)、令和2年			25人 (87-2	2%) と前年	E実績と
しており、めざそう					. 見ても人					
値 (R6) に比べて5					元で、コ					
性少ない状況です。		減少した					사다 사타 오 1포	~ / L / C / C V >	/ PEI/II / (шД
一一 一 一 一 一 一 一 一 一						野り気ワ	が沙曲し	共 らます	-	
	7 1友 も 孙	ひいしたし	た、田田	v ·Vノ場で	創出する	収り組み	が必安と	与んよ 9	0	
	備考:住民	基本台帳(4	4月1日~3月:	31日の合計	h)					

本目標3 みどり市の特性	を活かし	た地域雇	用の拡大	(はたら	く場)					
新規求人数		実績(人)	H30 861	R1 762	R2 971	R3	R4	R5	R6	めざそう値 1,000
R2状況		夫限(八)	001			因・課題		L	<u> </u>	1,000
	令和元年	度(3月)に	は全国的に					2.拡大の影	影響によ	り製造業
しており、めざそう		ービス業								
値(1,000人)に比べ		ザ特別措								
て29人少ない状況で		新型コロ							:業と人ホ	才不足企
す。	業とのマ	ッチング	など人材	確保につ	ながる支	迸が必要	になりま	す。		
	備考:桐生	職業安定所管	管内(各年度	₹3月期の新	規求人数)					
基本的施策 ①地域産業	の活性化									
商品開発・販路拡大の取	組件数	実績(件)	H30 9	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値 15
R2状況		2 3/23 (117)	- 1		誘因・要	因·課題	L	l.		
前年度と同数で、め		复は、前年								
ざそう値(15件)に		型コロナ								
比べて4件少ない状況		拡大事業								
です。		知と、令を要があり		- 実施し7	こ利用者の	アンケー	トの分析等	等による科	申助制度	の見直し
			_ , , ,							
	備考:新商	品開発チャレ	/ンジ支援補	助事業の年	目補助件数	ζ				
認定農業者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	185	187	187	因•課題				185
R2状況 前年度と比べ、横ば	町方の 釼	定農業者	の再転の					でした		
いです。めざそう値		足辰素石 継者のい							ていまっ	上 新相
(R6) に比べて2人多		掘り起こ			(日) 国内 日	MC & JAX	. 7 1A C A		((',	¹ ○ 1/1 //\TL
い状況です。	177 (1 0)		07720	C) o						
	備老・市の	認定する認定	2							
 基本的施策 ②産業の担		PUNC) SPUN	上及来 日 纵							
	V '于月 <u>风</u>		(H29)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
新規林業従事者数		実績(人)	9	4				RO	Ro	5
R2状況						因·課題				
		受入等を								
ており、めざそう値		、みどり								
(R6) に比べて5人少 ない状況です。		复にはそσ た必要し					後も杯業	: 促爭者恢	: 棚の安に	ナ皿とし
ない状況です。		を発揮し 和元年か					おります	が 林業	(分重老)	が描加さ
		には内容・					わりより	//*、///*未	(化学47	上归加口
	2 0 /200	10101111	()(1 %)()	1X 11 10 Z	X C 17/C	. 6 7 0				
	備考:林業	従事者実態訓	周査							
数.拍. \$P			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
新規就農者数 		実績(人)	3	8	1					5
R2状況						因·課題				
		めざそう								
ており、めざそう値		ではない								
(R6) に比べて4人少		少ない人	数でした。	, U <i>y</i> –	ン就農か	- 減少した	ことか要	因の一つ	と考えり	っれま
ない状況です。	す。	上や安定	のほか	新は徐の	道スなど	で典業の	鮭力な宣	・カナいく	必要がま	ふりま
	は人の同す。	工、女足	Vノ(み/)・、)	材 (1人) (1) (7)	守八なこ	く辰未り) 坠刀 で 円		少女がる	クソム
		就農者実態訓	問査							
市の融資制度を活用した	開業者		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
数 		実績(事業所)	12	12	12	正 新日本		<u> </u>	L	18
R2状況 並年度と同数で、み	△₹n0年□	生/ァナンノナ ブ	古の配券			因•課題		近し掛が	ハブも h	卒中□
前年度と同数で、め ざそう値に比べて6事		きにおける ルス感染								
業所少ない状況で		ルヘ感染: 型コロナ								
まがあない状況で	気れてい) 1 / V	- ヘルイルシの	/山心 ピイム	1 6 0	、四木人	1XIC 1/4	14 LA VI VI	KW ANW
	240 (1	J. 7 0								
1 1		_								
	備者・起業	家チャレンド	ご資金貸付事	『業研べ利E						

•	, ,) — 176 H	TXV-H \	1 /41/ 1	.		· HALVES			
		基本的施策 ③産業活性		づくり								
		市の優遇制度を利用し市	内に事		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		業所を新設・増設等した	件数	実績(件)	0	1	3					2
		R2状況					誘因・要	因・課題				
		ており、めざそう値 に比べて1件多い状況	大型店舗 を積極的 の利用が を検討す	に周知し 増加傾向	たことで	利用件数 制度内容	が増えた の見直し	と思われ も検討が	ます。ま 必要です	た、チェ 。一方で	ーン店(<i>/</i> 、増設・	
			備考:企業	立地促進事業	炎の指定事業	其所数 (新規	1)					

<u>∗どり市まち・ひと</u>	<u>・しごと倉</u>	1生総合	戦略(要因と	:課題			
本目標4 安心して住る	み続けられる	環境づく	りと移住 H30	<u>促進(移</u> R1	<u>住促進)</u> R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
社会増減数		実績	195人減		147人増		Κ4	СЛ	ОЛ	118人減
R2状況					誘因・要	因·課題		ļ	ļ	
前年度から187人増 しており、めざそう 値 (R6) と比べて2 人多い状況です。	5 人で前年 ス感染症 変化に伴 で、転入 アフター	度にお▲28: に比▲28: 上の動は大の動はナラック はかままで考えま	3人(83.4 響により 減少し、 年度より 時代に合	%)となり 社会活動 大幅な転 は減少し)、147人 が抑制さ 出抑制と たものの	の社会増 れ、首都 なったこ 、6%減/	となりま 圏への転 とが要因 ことどま	した。新出や、ラ 出や、ラ と考えら りました。	i型コロライフスラ いれます。 ・ウィズ	トウイル テージの 一方 コロナ、
		<u> </u>		31日の合計	転入者数-	- 転出者数				
基本的施策 ①遊休資			,,,,,	21 H 12 H H1.	127 1 1 30	[AH 1 %				
空き家バンク登録物例		実績(件)	H30 3	R1	R2 0	R3	R4	R5	R6	めざそう値 4
R2状況		天順 (計)	ა			因·課題				4
前年度と同様で0件 なっており、めざる う値(R1)と比べて 件少ない状況です。	そ 月に空家 て4 は、空き	(活用件数 実態調査 家バンク: 相談会等	で判明し 登録件数	なりまし た所有者 の増加が	た。令和 に対し、 見込まれ	2年度事業空き家バ ますが、	業として、 シクの登	録を依頼	しました	E。今後
	備考:空き	家バンク登録	录台帳							
基本的施策 ②転入者	4への積極的	支援								
転入者数		実績(人)	H30 1,545	R1 1,667	R2 1, 568	R3	R4	R5	R6	めざそう値 1,550
R2状況					誘因・要	因・課題				
前年度から99人減少 しておりますが、& ざそう値(R6)とし べて18人多い状況で す。	かとで のなしインは いた のなしインは で がいた のない のない のない のない のない のない のない のない のない のない	度年 2年 2年 2年 2年 3 4 5 5 6 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	手び減少し 前年を転り が年度出り がまま を を を を を を を を を を を を を の の の の の の	とましたが 比数を を は数を 都が の に の に と と と と と と と と と と と と と と き ら ら ら ら ら	くかさる かなな いかな いかな いかな いった いった は に 関す な に り の で の り の り の り の り り り し に り り り り り り り り り り り り り り り	そう値にで 度は減少 となりま が減少し るため、	ついては」 しました。 した。こ たことが 引き続き	上回る結 が、県全(のことは 要因と思 オンライ	果となり 体にお型: !われます ンによる	ました。 ても減少 ュロナウ け。 る移住相
	備考:住民	基本台帳(4	月1日~3月:	31日の合計						
新規住宅建築件数		実績(件)	H30 185	R1 240	R2 185	R3	R4	R5	R6	めざそう値 185
R2状況		大順 (117	100			因・課題		ļ	<u> </u>	100
前年度から55件減少		南沿沿書	税が10%	に増税さ	れたこと	による駆	[け込み需	要があっ	たため、	
しており、めさそう 値 (R6) と同件数と なっています。	動による 成30年度 引き続き	減少や、 と同様の 新築住宅 する情報	社会情勢 実績でし 建築によ	の影響に た。 る定住人	より、前 口の増加	を図るた	.め、子育	てや住宅	医支援施第	食などの

<u>みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略(中期)KPI 要因と課題</u>

本目標 5 地域特性に応し	じた魅力発	信と定住						T = =	1 -	1 .
観光客入込数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
一般 ルイン 人と 妖		実績(万人)	241	233	月確定)					300
R2状况	Es A de Ma	→ → - →	A) . Ala.	And a late of the second	誘因・要				dec 17:11	
前年度から92万人減 少しており、めざそ う値 (R6) に比べて 159万人少ない状況で す。	業等を実 令和3年 ルに対応	症拡大防 少ししておれておれた。 をした新た	止のため な要した新と な観光 な観光	、夏まつ 考えられ 、前年度 コロナウ	りや関東 ます。対 を大きく イルスの	菊花大会 策として 下回る実 影響が続	等の各種、個人旅減となり記いている	イベント 行や非接 ました。 ことから	・が中止と を触型での 、ニュー	さなった)誘客事 -ノーマ
++	備考:観光		質調査							
基本的施策 ①多様な媒	、体で魅力	発信	Н30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
SNSフォロワー数		実績(人)	1,030		3, 580			Ro	RO	3,000
R2状況 前年度から1,430人増 加しており、めざそ う値 (R6)に比べて	観光課が 況などを 影響し、	定期的に フォロワ	投稿した 一数の増	ことや新加に繋が	型コロナ いたと考	、観光地 ウイルス えられま	1のタイム 、感染症の : す。	影響によ	る外出自	粛等も
580人多い状況です。	今後も、終息後の備考:イン	集客に繋	げること	が必要と	なります		市の魅力	を紹介す	-ることで 	ごコロナ
 みどり市観光ガイドの会			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
数	·	実績(人)	3, 797	4, 336	420					6,000
R2状況 前年度から3,916人減 少しており、めざそ う値 (R6)に比べて 5,580人少ない状況で す。	新型コロ 今後は、 携した新 続して行	コロナ終 規顧客獲	息後の活 得のため	動を見振 の効果的	え、みど 」なPR、	、団体名 り市観光 会員のス	で減少が た物産協会 スキルアッ	などの観 プや新規	光関連団 記会員の募	団体と連
	備考:みど		イドの会実績	責報告書						
基本的施策 ②交流ゾー		. , ,,,,,,,								
観光資源数		実績(件)	H30 31	R1 34			R4	R5	R6	めざそう値 35
R2状況 前年度から増減はな く、めざそう値 (R6) に比べて1件少ない状 況です。	フトした 度は横ば 今後は、 となりま	は新型コ 個人旅行 いのまつり す。	ロナウイ 誘客事業 です。 や各イベ	ルス感染 において	症の影響 市内資源	を見据え により、 の再発見	-令和元年 団体から 上等に取り	個人旅行 組んだこ	「の誘客事 とからく	事業へシ 計和2年
	備考:群馬!	具観光地点 ^等	等名簿							
基本的施策 ③観光の広	7		Н30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
市内全駅の年間乗降客数	ζ	実績(万人)	166		108			Ro	Ro	169
R2状況 前年度から56万人減 少しており、めざそ う値(R6)より61万人 少ない状況です。	令和2年度 前年度比 基本的施 急事態宣	65%とな 策である	りました 観光の広	。 域連携と	して鉄道	の影響を	受け、鉄i 降客数を	KPIとし	ておりま	すが、緊
	少するた	め、KPIの ロナ、ア)向上は難 フターコ	推しい状況 ロナの時	兄です。		組みが課			
基本的施策 ④独自イベ	少するた ウィズコ 備考:鉄道	め、KPIの ロナ、ア 各社の市内駅)向上は難 フターコ	推しい状況 ロナの時	兄です。 代に合わ	せた取り				
各種イベント開催時の観	少するた ウィズコ 備考:鉄道 ントの実	め、KPIの ロナ、ア 各社の市内駅 <mark>施</mark>)向上は難 フターコ	雅しい状況 ロナの時 E集計 R1	兄です。 代に合わ R2 5,000	せた取り R3	組みが課 R4			F ₀
	少するた ウィズコ 備考:鉄道 ントの実 乱光客数 令和2年度	め、KPIの ウェース を を を を を を を を を の し り ま の し り ま の し の の の の の の の の の の し の の し の の し の の し の し の し の の の の の の の の の の の の の	D向上は フターコ R乗降客数を H30 236,524 型コン・イン で 図りなが	推しい状治 ロナの時 と集計 R1 195,577 ウイルス! 他のイベ ント交流	兄です。 代に合わ R2 5,000 誘因・要 惑染症拡ぶ ントは全	せた取り R3 因・課題 大の影響に て中止と 各実行委	組みが課 R4 により、ペ なり観光 手員会や関	題となっ R5 R5 令和3年3 客数は大	R6 R6 月開催の 相に減少 の調整を	かざそう値 260,000 カタクリ ンしてい ご進め、

	ひと・しごとタ		<u>略(中期)</u>	KPI	要因と	課題			
	の協働を推進(国								
	NPO活動をしてい		H30 R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
る市民の割合 R2状況	J	実績(%)	11. 8 14.	2 11.7 誘因・要					25. 0
前年度から2.		日の影響で活動	かの白毒もあ			1 ていま	す 市民	活動に帰	関の却
ト減少してお		市民の割合が							
ざそう値(R6		とめ、市民活動							
べて13.3ポイ		見があります。	,, pa, a 111	,,,,,,,,,			,,,,	711700	
い状況です。									
	備考:まち	っづくり市民アンク	ケート						
連携により実施	した事業数(企		H30 R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
業・団体)	101217/090(11	実績(事業)		50 55			RO	Ro	55
R2状沙				誘因・要					
前年度から5個		2括連携先も2							
ており、めざ		調に連携事業						ができま	:した。
(R6) を達成	してい 今後も刹	^{迷続して連携し}	ン事業の強化	を凶る取り	組みを推	進してい	さます。		
る状況です。									
	M. da . / . (a	* 11 .) Sala 10. Ida . I		e . — —					
		舌的な連携協定に	基づき実施した処	二ベ事業数					
基本的施策 ①	ボランティア・N		710.0 D.1	DO.	DO.	D.4	D.E.	D.C.) (3 m = Lin
地域活動に取り	組む市民団体数	実績(団体)	H30 R1 56	R2 50 59	R3	R4	R5	R6	めざそう値 70
R2状剂	7.	天順(団件)	50]	誘因・要					10
前年度から1件		ページに掲載	成を希望する			化や将来	の担い手	不足など	により1
ており、めざ		>しています。							
(R6) に比べ		市民活動に関							
少ない状況で		足活動の活性化		とともに新	規設立団	体や既存	団体の掘	り起こし	に力を
	入れる地	必要があります	Γ.						
	備考:市か	が把握しているボ	ランティア・NF	O団体数					
	企業・団体との協	1.74							
連携協定を締結	している企業・		H30 R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
団体数 R2状況	1	実績(団体)	6	6 8 誘因・要					8
前年度から2件		の連携協定の	の経結の申し			て活動な	·行うこレ	にトス	さらた
ており、めざ		トービスの向」							
(R6) を達成		:締結すること							
る状況です。		により、地域							
	備考:市ル	: の包括的な連携	協定を締結してい	る企業・団体	等の数				
	VII. 3 . 117 C			<u> </u>	4 17 20				

_ 月 標 B 誰もが活躍で	きろ地域社	一会を実現	(全昌活	· 躍)		<u> </u>	HPIVALES			
生きがいを持っている	高齢者割	ムムと入外	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう(
<u> </u>		実績(%)	80.9	81. 2	79.6					88.0
R2状況	Here Tital	1 1 2 2			誘因・要			W	~ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	4 m 1 ll 2.
前年度から1.6ポイン		ナウイルン								
ト減少しており、め		、周知が								
ざそう値 (R6) に比		った高齢							ぎどけいん	よからの
べて8.4ポイント低い	地域活動	プラス	進の普及	啓発を工	大して行	り必要か	めりよす	0		
状況です。										
	備考:まち	づくり市民ア	ンケート							
男女共同参画社会が実	見してい		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
る <u>と思う市民の割合</u>		実績(%)	62.9	63. 6	55.6					75.0
R2状況	N/ /	±14 227 b			誘因・要			La I I I I I I I I I		
前年度から8ポイント		割合が減り								
減少しており、めざ		の休業な								
そう値 (R6) に比べ		育児時間2								
て19.4ポイント低い		女性の家具								
状況です。		.男性の家? いった固知								
	す。	(19)に回)	ヒロゾエが	仅 刮 刀 担	.忠峨飞燕	忠戦が無	元で作作		. 少安かる) y エ
		* * * * + = =								
	備考:まち	づくり市民ア								
企業の障がい者雇用率		d (a)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
		実績(%)	2.09	1.84	2.01			<u> </u>		2. 30
R2状況 並年度と比べて0.17	古内の七	· 色人类201	4のごよ		誘因・要			- (さふ)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日ナマム
前年度と比べて0.17 ポイント増加してお		↑象企業39ネ ■度に比べ、				用で打つ	しいよう	。 ┣ / 1/1 ('白を准月	119 0 年
り、目指そう値		に対する理				協め陪が	い老の部	一学古怪に	問わる目	月花坳朋
(R6) に比べて0.29		に対する。						カスなに	- 医4ノのほ	可你饭用
ポイント少ない状況	こり生状		, /在/1102	1)/4/(1/27)	w) (V · \	公安(100)	ソムソ。			
です。	144 de 157 (1	wh 11/4 4-	- 31 - 3 3 w	1010-4-1						
		職業安定所集	計のりられ	メとり巾分						
基本的施策 ①健康維持 健康のために実践 して		嶉	H30	R1	R2	R3	D.4	R5	D.C.	ムギスさ
度原のために天成して 項目数	いの十級	実績(項目)	<u>пзо</u> 4. 7	4.8			R4	Ю	R6	めざそう ⁶
R2状況		X18 (XE)	1. 1		誘因・要			<u> </u>	 	1.0
前年度と変わりがな	まちづく	り市民アン	ンケート					飲酒をし:	ない」は2	. 7ポイン
く、めざそう値に比		食をしない								
べて2.2ポイント低い		ント、「朝か								
状況です。		た。健診の								
		少ない「間								
	る」を増え	やしていく	ことは、	生活習慣	貫病の発症	を全重症を	ヒ予防に・	つなげる	ためにも	大切で
	す。									
	備考:まち	づくり市民ア	ンケート							
基本的施策 ②女性の社		援								
女性就労支援のための		.1.45	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
研修会実施回数(年間)		実績(回)	2	2						2
R2状況	A 1-0 K I	たい、 かこエ	I 1		誘因・要				-N.1	
前年度から2件減少し		度は、新型								エ・マ
ており、めざそう値 (2回) に比べて2回少		ミナー及び事や子育で								张 匡 旧
ない状況です。		関と連携						'垛児には	、ひょり、	作的异
12 1/1/1/1 C 7 0				正座して	V \ 20安	11.00 J J J	7 0			
	供 老 .	市などが主催	4十2 和歌/	、 	2 佐 同 巻					
老業人屋にいたったり		川 は こ が 土惟					T 5.			.,
審議会等における女性	安貝の 割	字(4/0/)	H30 26. 2	R1 28. 6	R2 28. 8	R3	R4	R5	R6	めざそう 35. (
合 R2状況		実績(%)	40.4		<u></u>	田・ 課題				ამ. (
前年度から0.2ポイン	七 性委員	の割合は征	数増して					ナンレン状況	アであり	各所届
ト増加しており、め		る審議会								
ざそう値 (R6) に比		ては「み								
べて6.2ポイント低い		でなかった								
状況です。	てきます		/ /	, , , , , ,		, ., .	(,, <u>,,,</u>	, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- ,
		<u>。</u> に関する審議	ミヘダのナル	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -						
		に関りる番譲	太子守の女性	比安貝刮官						

 - <i>7</i> 11:07 <i>2</i>			M-H (1 /43/ .	• •	<u> </u>	HPT-7CE			
基本的施策 ③障がい者		共生								
自立支援給付を受けて地	域生活		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
している人数		実績(人)	401	410	438					550
R2状況					誘因・要	因・課題				
指そう値 (R6) に比 べて112人少ない状況	自立支援 関係 結果だ 引き 続い 必要 が	考えます。	いのある。	方へサー	ビスの案	内を行い	、必要な	支援につ	なげられ	ている
	備考:自立	支援給付事業								

	しこと創究						2 誅趄			
と目標C 都市部・他地域	なからのひと	や資金の			を流促進)	1 -	<u> </u>	.	.	1 .
連携により実施した延べ	事業数	. Cata C. C. Stran	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
	(年)	(事業)	53	53						6
R2状況	人和人生	. 1. 4 /d. 134 ±	-1 J-1	<u> </u>	誘因・要			** \ + **	0.1. 固乙二	□)~ /→ +/-
前年度から4件増加し										
ており、めざそう値	しています									
(R6) に比べて8件少	中の連携に									
ない状況です。	ってい、民などと連携						- の、 近	日何件《	(中) 111 日) (ノ日イゴ沖
	備考:他自治(体との協議	会・協定等	等に基づき	実施した延~	(事業数				
基本的施策 ①地域間交		推進								
交流人口増加を目的に連			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう
いる自治体数	実	績(自治体)	12	12	12					1
R2状況		s lett 그 bel A	\ \ ±6./#	17/24 14 34	誘因・要			. 		u \
前年度と同様の数値	「両毛広域									
であり、めざそう値				八士口	* ~ ^ → l + c					ヘトキャー
					の合計12					
(R1) に比べて3自治	変わってい	ません。	今後も	、自治体	間の様々	なつなか				
(R1) に比べて3自治		ません。	今後も	、自治体	間の様々	なつなか				
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。	変わってい増加を目的	ません。	今後も 『市間連	、自治体 携を推進	間の様々していき	なつながます。				
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。	変わってい 増加を目的 備考:包括連打	ません。 」とした者	今後も 『市間連	、自治体 携を推進	間の様々していき	なつながます。				
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。	変わってい 増加を目的 備考:包括連打	ません。 」とした者	今後も 『市間連 ^{市間交流等}	、自治体携を推進	間の様々にしていき	なつながます。	いやきっ	かけを活	用し、ダ	を流人口
(R1) に比べて3自治体少ない状況です。基本的施策 ②地方創生	変わってい 増加を目的 備考:包括連邦のための財	ません。 はとした者 りとした者 りなる。	今後も B市間連 市間交流等 H30	、自治体 携を推進 等により連打 R1	間の様々 していき ^{集している自}	なつながます。				を流人口 めざそう
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。 基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数	変わってい 増加を目的 備考:包括連邦のための財	ません。 」とした者	今後も 『市間連 ^{市間交流等}	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178	間の様々 していき	なつなが ます。 治体数 R3	いやきっ R4	かけを活	用し、ダ	を流人口 めざそう
(R1) に比べて3自治体少ない状況です。基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数R2状況	変わってい 増加を目的 備考:包括連邦のための財	ません。 はとした者 りとした者 りとした者 りは、一部では、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、」では、「は、、、、、、、、、、	今後も 市間連 市間交流等 H30 130	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178	間の様々 していき [*] ** ** ** ** ** ** ** ** **	なつながます。 治体数 R3 B・課 題	、りやきっ R4	かけを活 R5	用し、ダ R6	を流人口 めざそう 20
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。 <u>基本的施策 ②地方創生</u> ふるさと納税件数 <u>R2状況</u> 前年度から100件増加	変わってい 増加を目的 備考:包括連邦のための財	ません。ません。 第組織・都 源確保 に表 に表 に表 に表 に表 に表 に表 にある。 にもなる。 にもな。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもなる。 にもな。 にもる。 にもな。 にも。 にもな。 にもな。 にもな。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にも。 と。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 と。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 にもる。 と。 にもる。 にもる。 と。 にもる。 にもる。 と。 にもる。 と。 にもる。 と。 にもる。 と。 にもる。 と。 と。 にもる。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	今後も B市間連 市間交流等 H30 130	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178	ボ間の様々 無していき 無している 第している 第2 278 誘因・要度	なつながます。 治体数 R3 因・課 題より徐々	、りやきっ R4	かけを活 R5	用し、ダ R6	を流人口 めざそう 20
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。 基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数 R2状況 前年度から100件増加 しており、めざそう	変わってい 増加を目的 備考:包括連打 のための財 上 実 近年でを追加	ません。 はした者	今後も連 市間交流等 H30 130 よなが、要	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178 した。令 因と考え	は間の様々き りましている自 R2 278 誘因・要度す あたれます	なつながます。 治体数 R3 B・課 を より徐々	ドに返礼品	かけを活 R5 の充実を	·用し、女 R6 図ってお	を流人口 めざそう 20
(R1) に比べて3自治体少ない状況です。 基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数 R2状況 前年度から100件増加しており、めざそう値(R6)に比べて78	変わってい 増加を目的 備考:包括連邦のための財	ません。 はした者	今後も連 市間交流等 H30 130 よなが、要	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178 した。令 因と考え	は間の様々き りましている自 R2 278 誘因・要度す あたれます	なつながます。 治体数 R3 B・課 を より徐々	ドに返礼品	かけを活 R5 の充実を	·用し、女 R6 図ってお	を流人口 めざそう 20
(R1) に比べて3自治 体少ない状況です。 基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数 R2状況 前年度から100件増加 しており、めざそう	変わってい 増加を目的 備考:包括連打 のための財 上 実 近年でを追加	ません。 はした者	今後も連 市間交流等 H30 130 よなが、要	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178 した。令 因と考え	は間の様々き りましている自 R2 278 誘因・要度す あたれます	なつながます。 治体数 R3 B・課 を より徐々	ドに返礼品	かけを活 R5 の充実を	·用し、女 R6 図ってお	を流人口 めざそう 20
(R1) に比べて3自治体少ない状況です。 基本的施策 ②地方創生 ふるさと納税件数 R2状況 前年度から100件増加しており、めざそう値(R6)に比べて78件多い状況です。	変わってい 増加を目的 備考:包括連打 のための財 上 実 近年でを追加	ません。書籍組織・都源確保とは、一次をは、「は、「は、」では、」では、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、「は、」に、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	今後も連 市間交流等 H30 130 は おが、実 で が、実	、自治体 携を推進 等により連打 R1 178 した。令 因と考え	は間の様々き りましている自 R2 278 誘因・要度す あたれます	なつながます。 治体数 R3 B・課 を より徐々	ドに返礼品	かけを活 R5 の充実を	·用し、女 R6 図ってお	を流人口 めざそう 20